

ISEP15 周年シンポジウム第1弾
明日のエネルギー社会を担う若者100名
～地域で地球で活躍する ISEP インターン卒業生～

開催報告

日時

2015年5月23日（土） 13:20～16:40

場所

日比谷図書文化館 スタジオプラス（小ホール）
（東京都千代田区日比谷公園1番4号4F）

主催

認定NPO法人 環境エネルギー政策研究所（ISEP）

協力

一般社団法人 全国ご当地エネルギー協会

プログラム

13:20 開会

挨拶とメッセージ

ISEPと連携するコミュニティパワーの担い手からのメッセージ

環境NPOでのインターンの意義

インターン卒業生によるパネルトーク1

インターン卒業生によるパネルトーク2

海外のインターン卒業生からのビデオメッセージ

会場とのフリートーク

まとめ

16:40 閉会

◇概要

ISEP では設立当初から積極的にインターンを受け入れ、すでに 100 名以上が環境やエネルギーの実務に携わり、卒業していきました。いま、ISEP インターン卒業生は日本各地、世界各地で活躍しています。

こうした経緯をもとに、環境 NPO でインターンを経験する意義やその後のキャリアへの影響などをインターンや学生支援プログラムの受入側、インターン卒業生の双方から語り合うイベントを開催致しました。

◇挨拶とメッセージ

- ・ 飯田哲也（環境エネルギー政策研究所 所長）
- ・ ソーレン・ハーマンセン（サムソエネルギーアカデミー 代表/環境エネルギー政策研究所 理事）

イベントは、ISEP 所長の飯田哲也とサムソアカデミー代表のソーレン・ハーマンセン（録画によるビデオメッセージ※）による、会場に集まった若者への力強いメッセージとともに開会されました。

これからの自然エネルギーの躍進に向け、最先端で変革をもたらす活躍への期待、本シンポジウムに代表されるような様々な人との出会い・ネットワークを大切にすることの重要性が伝えられました。

※ISEP の Youtube チャンネルから日本語字幕付きで
ご覧いただけます。(https://www.youtube.com/watch?v=S20Q1e5xG2U)



（演台：飯田／スクリーン：ソーレン）

◇ISEP と連携するコミュニティパワーの担い手からのメッセージ

- ・ 佐藤彌右衛門氏
（会津電力株式会社 代表取締役社長/一般社団法人 全国ご当地エネルギー協会 代表理事）
- ・ 井上保子氏
（非営利型株式会社 宝塚すみれ発電 代表取締役/一般社団法人 全国ご当地エネルギー協会 理事）



（佐藤彌右衛門氏）



（井上保子氏）

ISEP では、地域の主体による、地域を元気にする自然エネルギー事業「コミュニティパワー」の普及を目指し、全国各地の人・地域と連携しています。

実際に地域で自然エネルギーに取り組む会津電力の佐藤氏、宝塚すみれ発電の井上氏から、これからの地域エネルギー事業の担い手となる若者の成長を応援する、温かいメッセージが寄せられました。

◇環境 NPO でのインターンの意義

- ・ 芦沢壮一氏（公益財団法人 損保ジャパン日本興亜環境財団課長）
- ・ 山川勇一郎氏
（一般社団法人 多摩循環型エネルギー協会理事/たまエンパワー株式会社代表取締役）
- ・ 山下紀明（環境エネルギー政策研究所主任研究員）



このセッションでは、数多くのインターン生を受け入れ、送り出してきた三者から見た、環境 NPO におけるインターンの意義が語られました。

数々の実務を経験したインターン生たちの成長は目覚ましかったといいます。その成果は実際にインターン生達自身にも自覚されており、「人生を変える経験」（CSO ラーニング：芦沢氏の報告より）というコメントが多く、修了生から寄せられたそうです。

ISEP の HP でも、インターン卒業生を対象に実施したアンケート結果が公開されています。ぜひご参照ください。

(<http://www.isep.or.jp/wp-content/uploads/2011/09/af76009926c40d2f1f04847e62e15699.pdf>)

◇インターン卒業生によるパネルトーク 1

- ・ コーディネーター：古屋将太（環境エネルギー政策研究所研究員）
- ・ コメンテーター：山川勇一郎
- ・ ISEP インターン卒業生（3.11 以前）

パネルトーク 1 では、3.11 以前の ISEP インターン卒業生 5 名が登壇しました。各々自然エネルギー業界に散らばり、すでに数年以上の社会経験を積んでおり、会場の現役インターンはじめ参加者にとって大きな刺激となるトークが展開されました。

当時の仕事について、「インターン生に大きな裁量を任されることも多々あり、当時は大変な思いをしたが、その経験が今の仕事にも活かしているのではないか」というお話があり、共感するその世代のインターン生とパネルトーク 2 に登壇する最近のインターン生と

のギャップが感じられました。また、ISEP の人脈で転職したという方もいらっしゃいました。

当時を懐かしむ話題も盛り上がり、ISEP での経験が社会においても様々なかたちで活かしているという実感が多くの登壇者から語られました。

◇インターン卒業生によるパネルトーク 2

- ・コーディネーター：山下紀明
- ・コメンテーター：芦沢壮一
- ・ ISEP インターン卒業生（3.11 以降）・現役インターン

パネルトーク 2 では、3.11 後の卒業生および現役インターンが登壇し、それぞれの現在の活動、ISEP インターンでの経験などについて語り合いました。

ISEP からまだ社会に出て間もないインターン卒業生や、今後のキャリア選択に不安や希望を抱く現役インターンの間のトークは、これからインターンを考えている参加者にとっても親近感のある、参考になる内容となりました。インターン生同士で協力し自治体との企画を実現したことや、インターンを経験したことが海外で学ぶ意志に繋がったことなど、ISEP での経験がその後の進路に影響を与えた経験談もいくつかありました。

◇海外のインターン卒業生からのビデオメッセージ

ISEP インターン卒業生のなかには、海外から来た方や海外に飛び出して活躍している若者もいます。

こうしたインターン卒業生とビデオ通話の中継を行い、ISEP での思い出や現在の活動への影響などを語って頂きました。

海外出身のインターン卒業生、海外に飛び立っていった日本人インターン卒業生のお話、会場の参加者は興味津々に聞き入っている様子でした。



◇会場とのフリートーク

シンポジウムの締めくくりとして、登壇者と参加者全員を巻き込んだフリートークを行いました。登壇者から登壇者への質問、一般の参加者からの質問など、会場全体で意見を交換し合う盛り上がりを見せました。将来のキャリア設計に迷う現役インターンに対して、「理想を固めすぎず、ゆくゆくはやりたいことが出来れば、という余裕を持つ」「修行という意味合いで別の業種をファーストキャリアとして考えるのも一つの選択肢」などのアドバイスが寄せられる一幕もありました。



◇まとめ

自然エネルギー業界をはじめとして様々な分野で活躍するインターン卒業生から、インターンの受入側、現役インターンや今後のインターンを検討する一般参加者まで、様々な立場の人々が参加した今回のシンポジウムは、大盛況のうちに閉会を迎えました。

ISEPでインターンを経験した人々のネットワークが今後も日本各地・世界各地に広がり、社会により変化をもたらしていくことを願います。

閉会の記念として撮影した集合写真の生き生きとした表情が、今回のシンポジウムの成功と今後の発展を象徴しているのではないのでしょうか。

